

TOTO 丸形アンダーカウンター洗面器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

※以下の説明は **TOTOカウンター以外にセットされる場合** のものです。TOTOカウンターにセットされる場合は、TOTOカウンター専用固定金具に同梱している説明書を参照ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただけ、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

してはいけない「禁止」内容です。

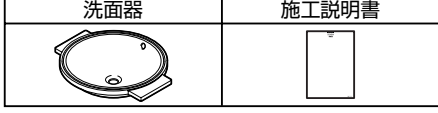
必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意	
禁止	<p>洗面器にかたい物を落とさない 洗面器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
禁止	<p>洗面器に強い力や衝撃を与えない 洗面器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
禁止	<p>陶器に熱湯を流さない 熱湯を使用すると、洗面器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
強制	<p>凍結のおそれがある場合は、器具周囲の温度が氷点下にならないようにする 洗面器が凍結すると破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
強制	<p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。</p>

2 カウンターについて

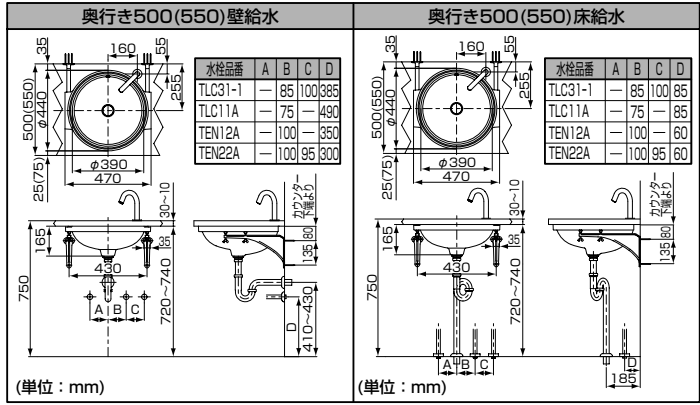
- 当社対応カウンターは、総合カタログをご参照ください。
- 当社製以外のカウンターにセットされる場合は、カウンター厚みを10~30mmの範囲としてください。
- カウンターの切り欠き形状については、設計施工資料集をご参照ください。(07.4以降)また、別途型紙を準備しておりますので当社の支社、支店、営業所にお問い合わせください。

3 部材の確認

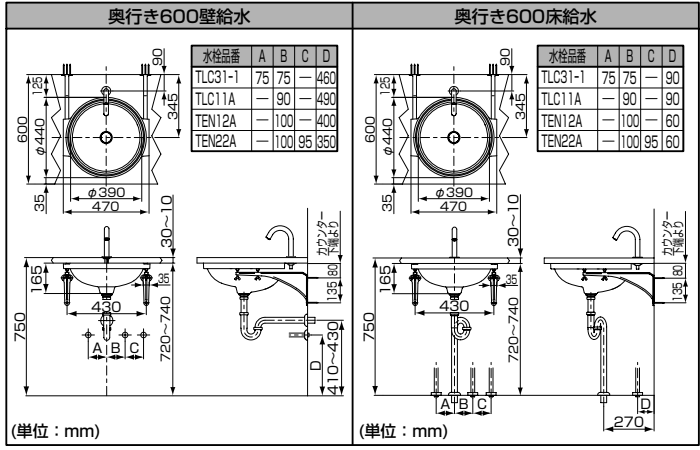


※別途手配品：
ブラケット、水栓金具他

4-1 完成図



4-2



5-1 施工手順

- ### 1. 取り付け前の準備
- 施工前に、給水管および排水管取り出し位置が所定の位置にあることを確認する。
 - 排水管を壁面または床面と同一面で切断する。
排水管切断面のバリ・汚れは必ず除去する。
(排水管はVU40、VU50またはVP40、VP50をご使用ください)
 - 器具を取り付ける際に、必ず給水管内のごみ・砂を完全に洗い出す。
 - ブラケットの壁固定部分に壁面補強板が入っていることを確認する。
(注)補強板については構造用合板で十分な補強が確保できる厚みとすること。

5-2

2. 水栓金具の取り付け

●(例)TLC11Aの場合

注意
パッキンを必ず取り付ける
水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行
取付穴φ35に取り付ける場合、
平パッキンを同梱の段付きパッキンに取り替える
平パッキンのまま取付穴φ35に取り付けると、水漏れ、ガタツキの原因となります。

平パッキン
(φ28穴用)

段付きパッキン
(φ35穴用)

注意
取付詳細については、水栓金具に同梱の施工説明書を参照ください。

注意
固定には別売の締付専用工具(TZY15N)を利用して確実に締め付けてください。

締付専用工具
(別売: TZY33N)

注意
固定には別売の締付専用工具(TZY33N)を利用して確実に締め付けてください。

注意
取付詳細については、水栓金具に同梱の施工説明書を参照ください。

注意
固定には別売の締付専用工具(TZY15N)を利用して確実に締め付けてください。

締付専用工具
(別売: TZY15N)

注意
固定には別売の締付専用工具(TZY15N)を利用して確実に締め付けてください。

給湯パイプ

給水パイプ

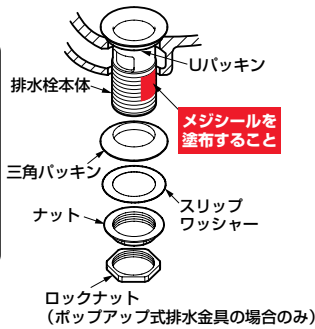
(注) その他の水栓金具の取り付けについては、水栓金具に同梱の施工説明書をご覧ください。

3. 排水金具(排水口部)取り付け

注意

三角パッキンの方向に注意して取り付け
水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行
ナットは三角パッキンの弾性を失わない程度に締め付ける
強く締めすぎると、洗面器が破損してけがをするおそれがあります。



注意

取付詳細については、排水金具に同梱の施工説明書を参照ください。

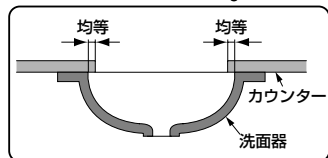
(注) その他の排水金具の取り付けについては、排水金具に同梱の施工説明書をご覧ください。

4. 洗面器の仮固定

①洗面器上面の溝にメジシールを塗布する。

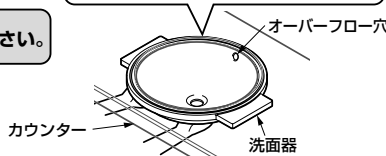


②カウンターかぶり代が均等になるよう、洗面器をカウンターへ押し当てておく。このとき洗面器オーバーフロー穴が壁側中央になるようにセットしてください。



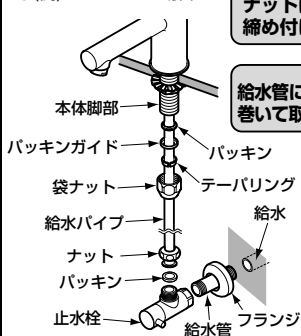
注意

作業は必ず二人以上で行ってください。



7. 止水栓の取り付け

●(例) TLC11Aの場合



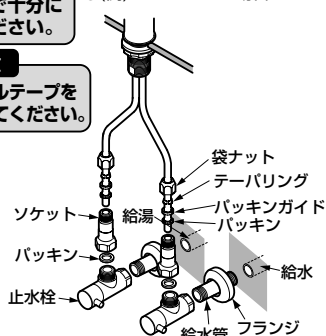
注意

ナットは工具で十分に締め付けてください。

注意

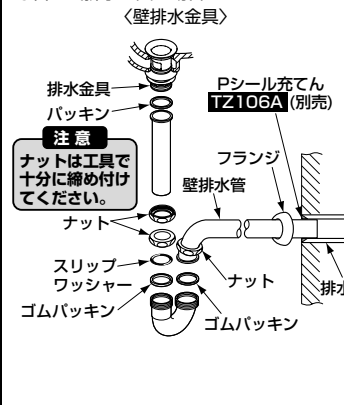
給水管にはシールテープを巻いて取り付けください。

●(例) TLC31-1の場合

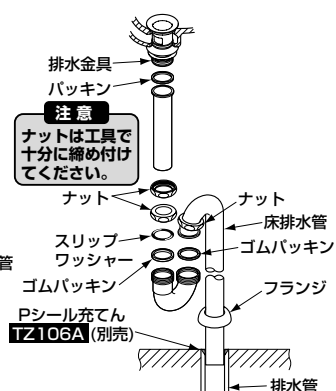


8. 排水金具の取り付け

●目皿式排水金具の場合



●床排水金具の場合



注意

ナットは工具で十分に締め付けてください。

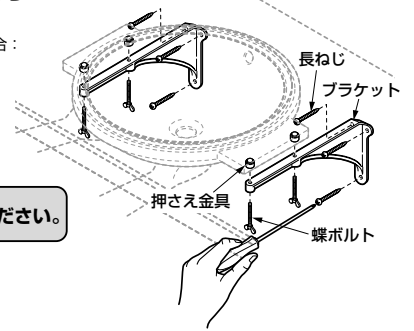
注意

ナットは工具で十分に締め付けてください。

5. ブラケットの取り付け

洗面器をカウンター下から支えながら壁にブラケット^{※1}を取り付ける。

※1. カウンター奥行き500/550の場合: TL516GR
カウンター奥行き600の場合: TL516GLR

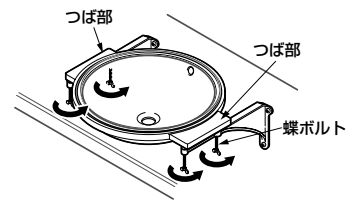


注意

作業は必ず二人以上で行ってください。

6. 洗面器の本固定

ブラケットの蝶ボルトを締め付けて、洗面器をカウンターに固定する。



注意

洗面器両サイドのつば部が確実にブラケットにのっていることを確認してください。

注意

洗面ボウルにはみ出したメジシールをきれいに取り除いてください。

7. 止水栓の取り付け

注意

排水金具は洗面器と排水管に仮固定して、排水金具が前後左右方向に傾いていないことを確認したあと、すべてのナットを締め込んで本固定してください。

注意

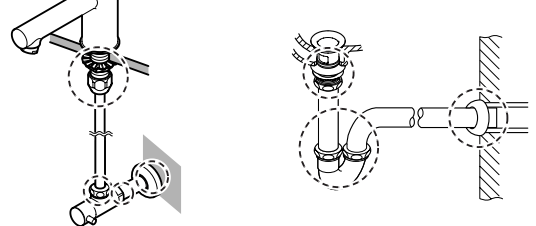
壁排水管および床排水管は、施工誤差による取付不良防止のため、長さを長めに設定しております。取り付け時は差し込み代を40mm以上確保し、パイプカッター・ノコなどで必要な長さに切断して使用してください。

6 取り付け完了後の確認

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水漏れの確認

●通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。



ガタツキの確認

●カウンター・洗面器が確実に固定されていることを確認してください。